

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	国立公園等管理事業(吉永)		コード	担当課	吉永総合支所産業建設課管理係
			04-03-01-05	担当者	吉田正人
事業実施期間			電話	84-2513	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり			
	中項目	個性あふれる観光のまちづくり			
	小項目	観光			
	施策	観光地の整備			

事業について	
目的	岡山県の管理する中国自然歩道の内、吉永地域内分を岡山県の委託により適正に管理する。
対象 (誰のために)	自然歩道利用者
内容	吉永地域内分約12kmの自然歩道の草刈等管理業務の地元への委託。

事業の結果	
実施項目	17年度
	回数など (単位)
管理委託延長	12 km

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	155	国庫補助金等	147	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	504	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	659	市債	512	合計	0	市債	0

必要人員	0.05	人
結果指標名	管理委託延長	
結果指標量	12	
単位	km	
対前年比	—	0.00%
事業費	659,000	円
単位当たりコスト①	54,917	円

結果指標名	管理委託延長	
結果指標量	12	
単位	km	
対前年比	—	0.00%
事業費		円
単位当たりコスト②		円

事業の成果	
成果指標名	施設維持管理件数
式又は説明	当初予定のとおり管理できた。
成果指標量	17年度
対前年比	1
到達目標値	0.00%

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	岡山県から委託されている業務であるが、市内分については市が実施するのが妥当と思われる。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
市の関与の妥当性	市の関与の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	岡山県からの委託料が限られているため、委託先の地元には無理をお願いしている現状である。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	例年通り実施できた。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	
コメント	県と地元との直接契約の可能性を県と協議する。
評価区分	<A~E>
	C

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	県と地元との直接契約	H19以降	コストダウン

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。